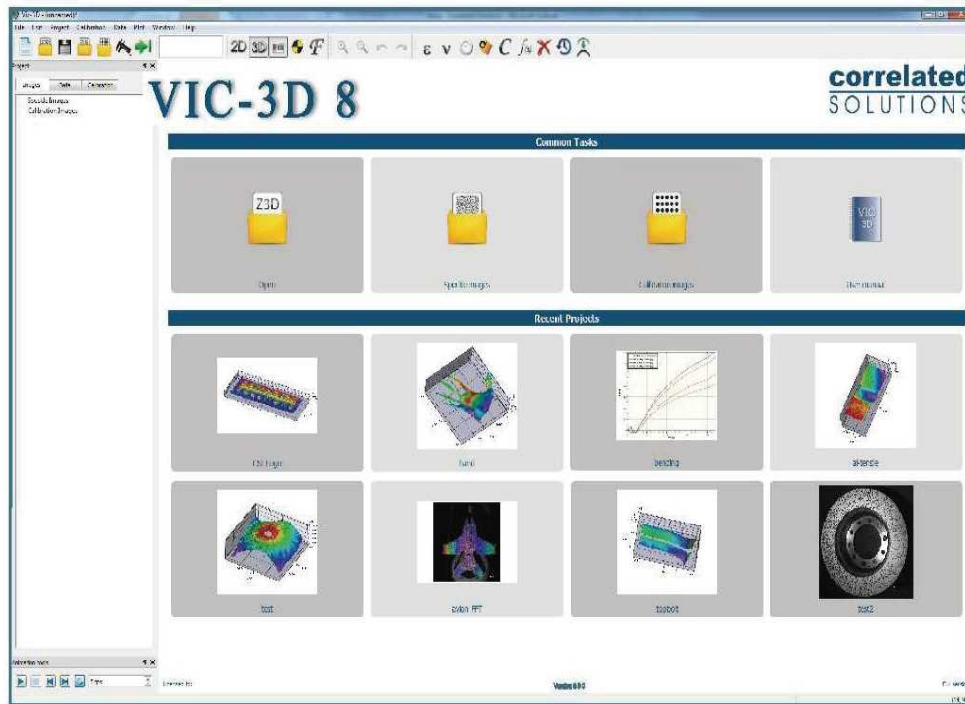


New VIC-3D 8 Features

by Correlated Solutions, Inc.

VIC-3D デジタルイメージコリレーションソフトウェアの最新バージョン V8.0 がリリースされ、ハイブリッドキャリブレーションによりパフォーマンスが一層向上しました。



- ・高ひずみ分解能：最少 0.001%(10 μ e)
- ・歪み計測レンジ：0.005%(50 μ e) ～ 2,000% 以上
- ・面内分解能：最少 1/200,000 * FOV
例) 視野 = 100mm, 面内変位分解能 \pm 0.5 μ
- ・面外分解能：最少 1/100,000 * FOV
例) 視野 = 100mm, 面外変位分解能 \pm 1.0 μ
- ・ODS アンプリチュード：FFT モジュール (特許取得済) により、最少 10nm までの分解能を可能にしました。
- ・ステレオマイクロスコープ：非ラジアルディストーション補正モジュール (特許取得済) 付き、面内 10nm、面外 120nm の変位分解能

New VIC-3D 8 Features

by Correlated Solutions, Inc.

- Python スクリプトにより、解析のカスタマイズや繰り返しが可能になりました。バッチ処理も行えます

- テンプレートによるテキスト文書やプレゼンテーションへのレポート出力が追加されました。レポートに含めることができる項目は、校正值、解析セッティング、スペckルイメージ、AOI、解析テーブル、プロット結果、外部イメージなど様々です

(Word、Power Point、OpenOffice、LibreOffice 形式等で出力可能)

- ハイブリッド校正オプションでスペckルイメージによる校正作業がより便利に。収差の大きいレンズを使用する場合、バイアス（偏り）を低減したい場合、小さい視野の場合等に精度良く計測可能になります。

比較	Regular	Hybrid
noise	=	=
bias	-	+
small FOV	-	+
high distortion	-	+

- 歪曲収差、非点収差、像面湾曲収差を補正することが可能です。

- 新規プロジェクトを保存済みの校正データ、AOI、解析セッティング、座標変換設定などのテンプレートから作成可能

- プロットを任意の画像だけ選んでグラフ描画可能になりました。

(画像点数が多い場合、間引いてグラフ作成可能)

- ネットワークライセンスオプションが入手可能に

- 多角形データ抽出ツールを追加

- VRO キャリブレーション機能で水中での計測、ガラス越しでの計測が高精度になりました。

- 新しいマルチシステムにより、従来の方式よりも校正精度が上がりました。この独自の方式によりある試料の2つの側や、長い梁、ブレード、または壁面のような形状でもオーバーラップがなくても測定できます。

- AOI エディタがドラッグ&ドロップに対応。

- IR データの解析の改良がより簡単になりました。